

2025年度版 スポットワークを選択する理由に関する調査 ～スポットワークにおける不本意非正規雇用労働者の実態～



ス ポ ッ ト ワ ー ク 研 究 所

Spotwork Institute by Timee

01 はじめに

はじめに

<背景・目的>

総務省『労働力調査（※）』によれば、2010年以降、非正規雇用労働者数は増加傾向にあるが、正社員として働く機会がなく非正規で働いている不本意非正規雇用労働者の割合は、2013年19.2%から2024年には8.7%まで減少している。

『労働力調査』でいう非正規雇用労働者には、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員等が含まれているところ、本調査は、スポットワークのみを対象を絞り、スポットワークという働き方を選択している理由は何か、スポットワークにおける不本意非正規雇用労働者の割合および実態を明らかにすることを目的に実施したものである。

※総務省『労働力調査（2024年（令和6年）平均結果）』より

アンケート調査概要

	2025年	2024年
調査名	スポットワーカーに関するアンケート	スポットワーカーに関するアンケート
調査期間	2025年7月25日～2025年7月27日	2024年7月26日～2024年7月27日
調査対象	スポットワーカー618名	スポットワーカー618名
調査エリア	47都道府県	47都道府県
調査方法	インターネット	インターネット
回答者属性	【性別】 男性：62.3% 女性：37.7% 【年代】 10代：4.4% 20代：34.6% 30代：25.6% 40代：16.8% 50代：10.8% 60代以上：7.8%	【性別】 男性：69.1% 女性：30.9% 【年代】 10代：3.4% 20代：36.4% 30代：24.6% 40代：20.1% 50代：10.2% 60代以上：5.3%

02 調査結果

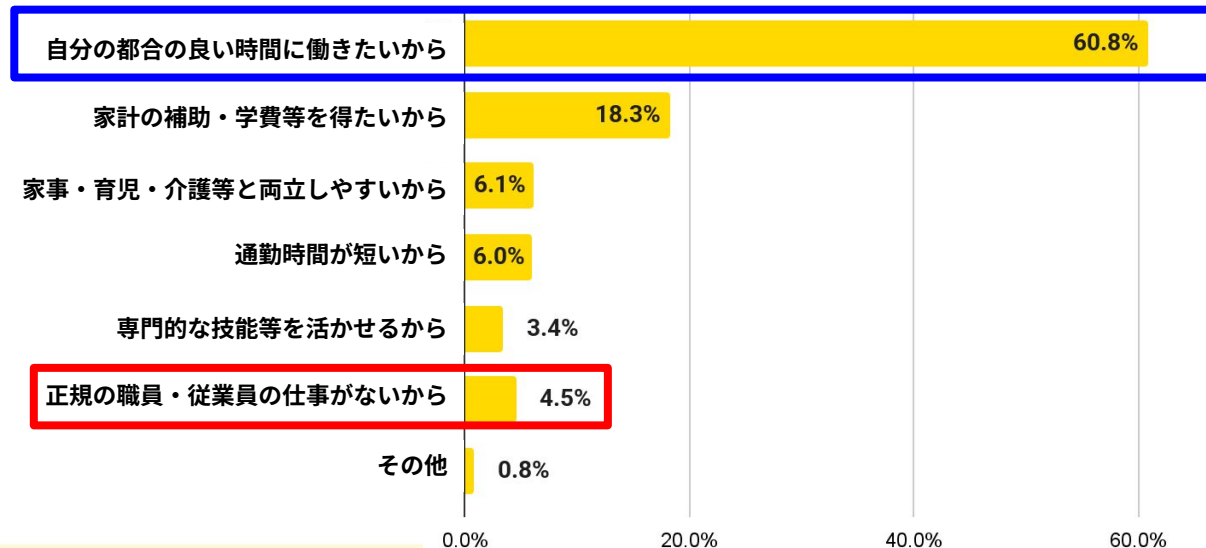
※特に断りのない限り、以下は2025年調査の結果について述べたものである

スポットワークを選択している理由（スポットワークにおける不本意非正規雇用労働者割合）

- 「スポットワークを活用されている理由」として、「自分の都合の良い時間に働きたいから」が60.8%と最多となった。2024年時の調査（58.7%）と比較すると「自分の都合の良い時間に働きたいから」と回答している人は、2.1pt増加している。
- 一方、「正規の職員・従業員の仕事がないから」とスポットワークを選択している不本意非正規雇用労働者は4.5%であり、2024年時の調査（4.2%）と比べて0.3pt増加している。

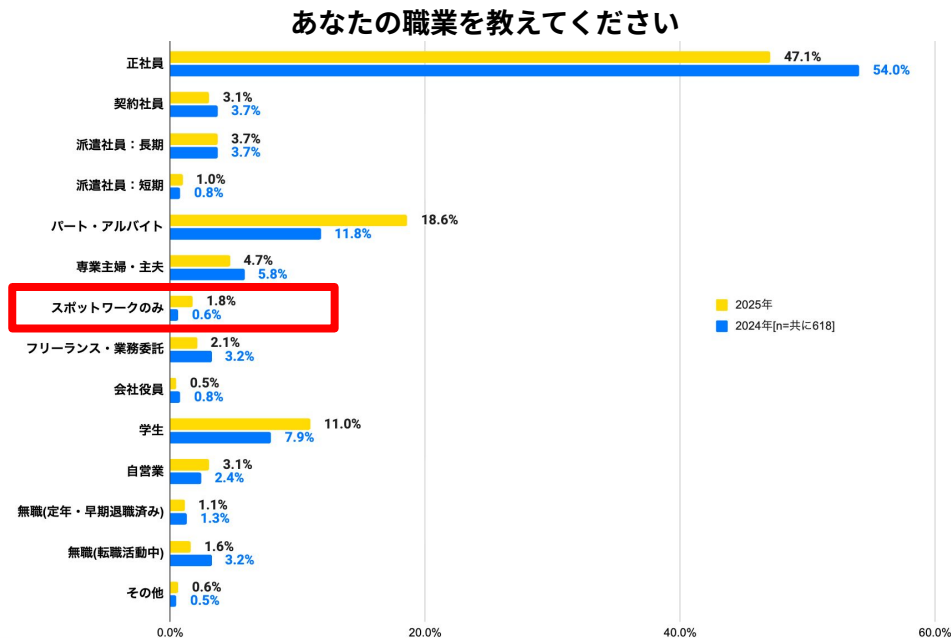
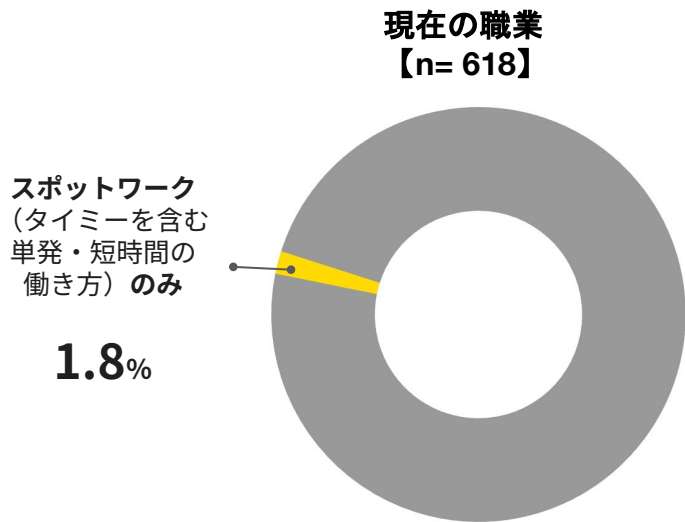
スポットワークの働き方を活用されている理由として当てはまるものを1つ選んでください

[n=618]



アンケート回答者の職業

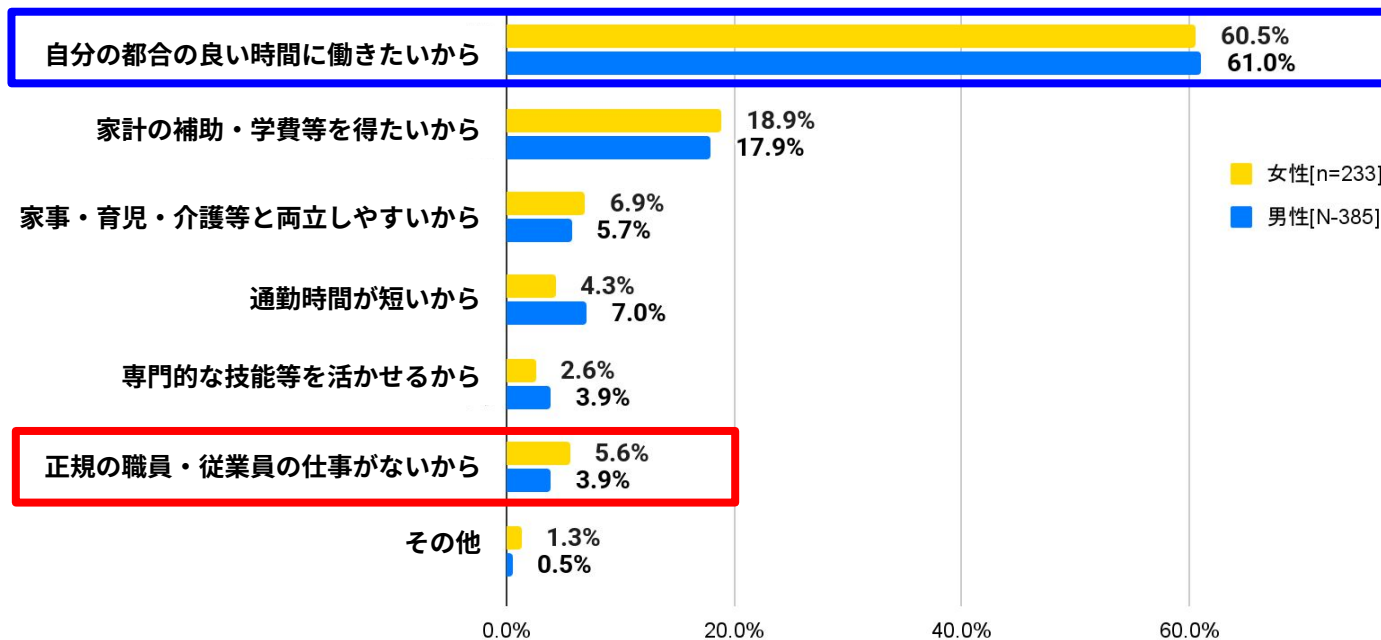
- スポットワーカーに職業を聞いたところ、正社員が47.1%、次いでパートアルバイトが18.6%と、スポットワークとは別に仕事がある人が一定いることが読み取れる。一方、スポットワークのみと回答した人は全体の1.8%であった。
- ほとんどの働き手が正社員職やパート・アルバイト職などと兼務していることも、スポットワークにおける不本意非正規雇用労働者割合を押し下げている要因といえる。



【男女別】スポットワークを選択している理由（スポットワークにおける不本意非正規雇用労働者割合）

- 男女別に見てみると、「正規の職員・従業員の仕事がないから」という回答は、男性よりも女性の方が1.7pt上回った。「自分の都合の良い時間に働きたいから」は男性の方が0.5pt上回った。

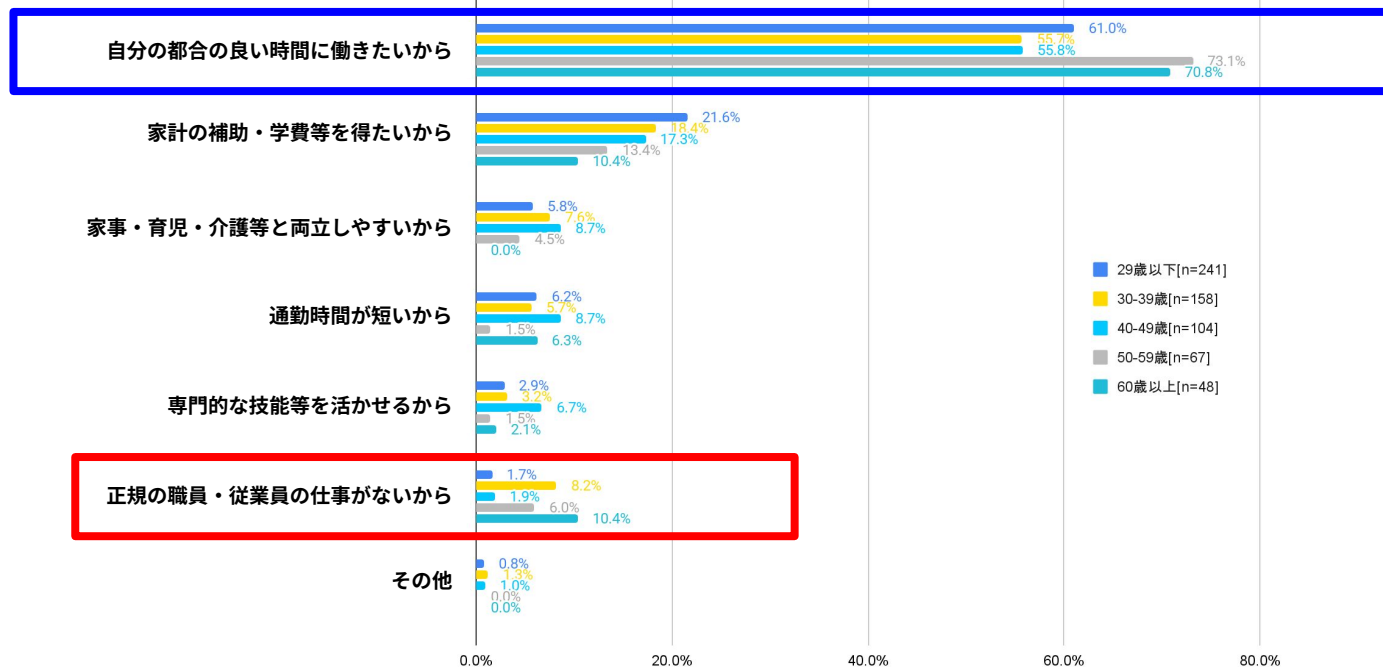
スポットワークの働き方を活用されている理由として当てはまるものを1つ選んでください



【年齢別】スポットワークを選択している理由（スポットワークにおける不本意非正規雇用労働者割合）

- 年齢別に見てみると、「正規の職員・従業員の仕事がないから」と回答したのは60代以上が10.4%と最も多い。ついで30代が8.2%、50代が6.0%と続いた。

スポットワークの働き方を活用されている理由として当てはまるものを1つ選んでください



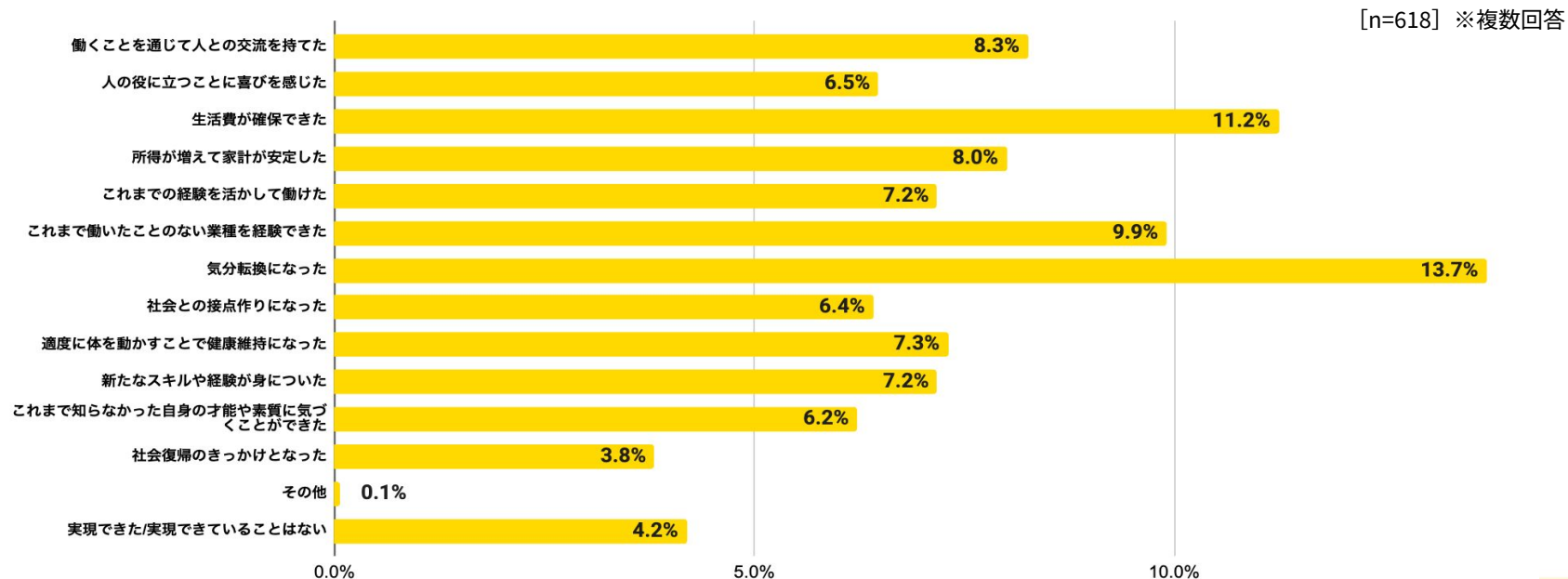
【年齢別（参考）】スポットワークを選択している理由（スポットワークにおける不本意非正規雇用労働者割合）

	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
自分の都合の良い時間に働きたいから	61.0%	55.7%	55.8%	73.1%	70.8%
家計の補助・学費等を得たいから	21.6%	18.4%	17.3%	13.4%	10.4%
家事・育児・介護等と両立しやすいから	5.8%	7.6%	8.7%	4.5%	0.0%
通勤時間が短いから	6.2%	5.7%	8.7%	1.5%	6.3%
専門的な技能等を活かせるから	2.9%	3.2%	6.7%	1.5%	2.1%
正規の職員・従業員の仕事がないから	1.7%	8.2%	1.9%	6.0%	10.4%
その他	0.8%	1.3%	1.0%	0.0%	0.0%

スポットワークを通じて、実現できた／実現できていること

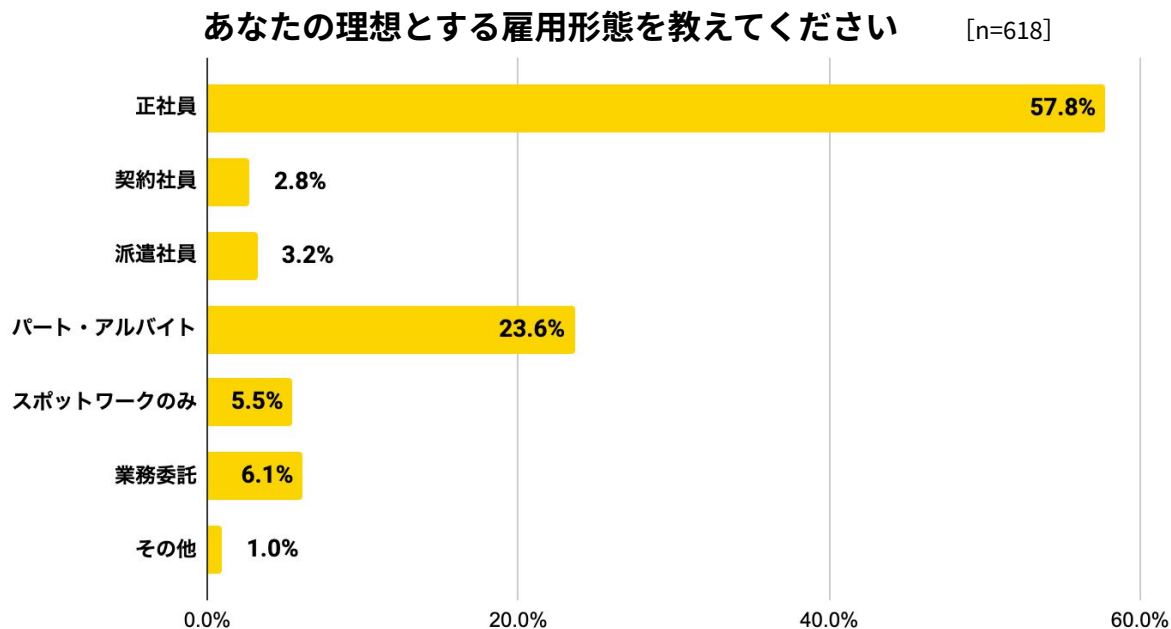
- 「スポットワークをすることで実現できた／実現できていること」として、「気分転換（13.7%）」「生活の安定（11.2%）」を回答している人が多かったものの、「これまで働いたことがない業種を経験できた（9.9%）」「働くことを通じて人との交流を持てた（8.3%）」などの魅力を感じている人が一定いることが判明した。

スポットワークをすることで実現できた／実現できていることをすべて教えてください。



希望の雇用形態

- 「あなたの理想とする雇用形態を教えてください」と聞いたところ、約半数の人が「正社員」（57.8%）を希望、次いで「パート・アルバイト」（23.6%）となり、所定の企業に所属して働きたい人が一定いることがわかった。
- 一方で「スポットワークのみ」希望すると回答した人は5.5%になり、2024年の調査（7.7%）より2.2pt減少した。

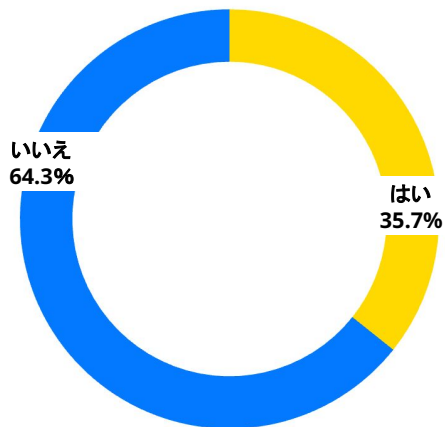


長期採用への要望

- 「正規の職員・従業員の仕事がないからスポットワークを活用している」と回答した28名（「不本意スポットワーカー」という）を対象に、「スポットワークサービスでの勤務を通して良い職場と出会えたら、長期で就業したいと思いますか？／思ったことはありますか？」と聞いたところ、35.7%が「はい」と回答した。
- さらに、「どのような形態での就業を望んでいますか／望まれていましたか？」との回答では、7割が正社員と回答した。

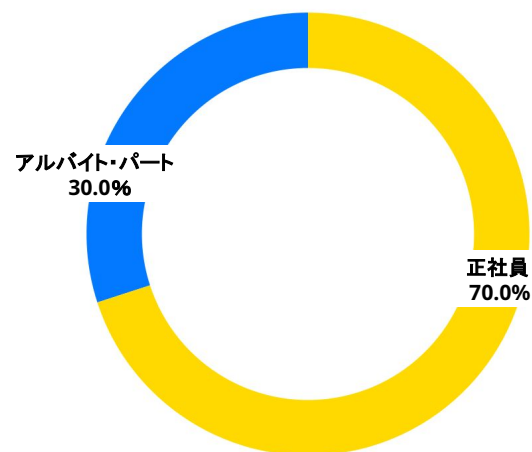
スポットワークサービスでの勤務を通して良い職場と出会えたら、
長期で就業したいと思いますか／思ったことはありますか？

[n=28 (不本意スポットワーカー)]



どの形態での長期就業を
望まれていますか／望まれていましたか？

[n=10 (不本意スポットワーカーのうち、長期就業したいと回答した人)]



まとめ

本調査では、スポットワーカーの47.1%は正社員の本業を持ち、スポットワークのみで働く者は1.8%に留まること、スポットワーク利用理由は「自分の都合の良い時間に働きたい」が60.8%と最多であり、「正規の職員・従業員の仕事がない」からスポットワークを選択しているスポットワークにおける不本意非正規雇用労働者の割合は4.5%であることが判明した。

また、不本意層（不本意スポットワーカー）の35.7%は良い職場に出会えば長期就業を希望しており、そのうち7割は正社員を望んでいることが判明した。長期就業を望むスポットワーカーに対しては、スポットワークでの経験が中長期的な就労につながる支援が必要と考えられる。

※タイミー社では、スポットワークから中長期の就労への導線として「タイミーキャリアプラス」の事業を展開している。

今後の労働市場において、スポットワークが単なる「スキマ埋め」の手段ではなく、個人のライフスタイルに合わせた働き方となっていくことが考えられる。事業者側には、こうした多様な動機を持つスポットワーカーを柔軟に受け入れていく姿勢がより一層求められているだろう。